

# 部品交換要領書

玄関ドア [DH=1900](マグネット式)・アミティ[DH=1900]用  
サムラッチハンドル・シリンダーユニット

HHW12-186  
2018年 8月発行

## 作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。  
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。  
部品交換・調整手順が不明の場合は、**パーツセンターホクセイ**までお問い合わせください。

## 作業にあたって

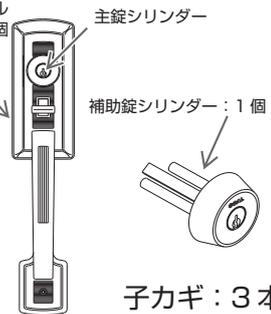
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。  
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)  
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

## 安全上の注意事項

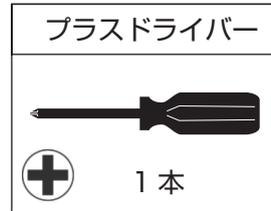
### お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。  
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。  
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

## 同梱されているもの

サムラッチハンドル・シリンダーユニット	部品交換要領書
HH-J-0014 室外側サムラッチハンドル (主錠シリンダー付) : 1 個  主錠シリンダー 補助錠シリンダー : 1 個 子カギ : 3 本	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>本書</p> </div> 1 枚

## 作業のために準備していただくもの



※部品が全てそろっていることを確認してください。  
※主錠シリンダーは室外側サムラッチハンドルに組み込まれています。  
※取付ねじは同梱されていません。現在取り付いている付ねじを使用してください。

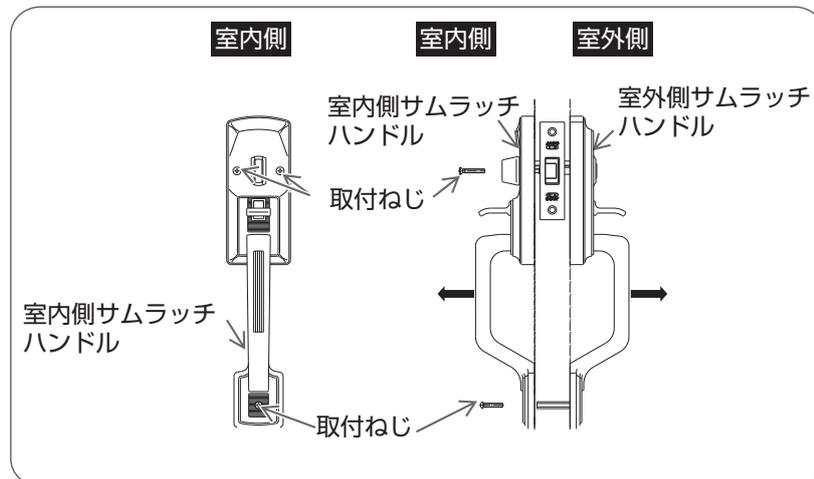
## 部品の取りはずし方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

※本要領書では、右勝手で説明しています。

## 1 室外側サムラッチハンドルの取りはずし



室内側よりプラスドライバーで室内側サムラッチハンドルの取付ねじをはずし、室内側および室外側サムラッチハンドルをはずす。  
※取付ねじを取りはずすと、室外側サムラッチハンドルがはずれます。落下にご注意ください。  
※取りはずした室内側サムラッチハンドルおよび取付ねじは取り付けの際使用しますのでなくさないでください。

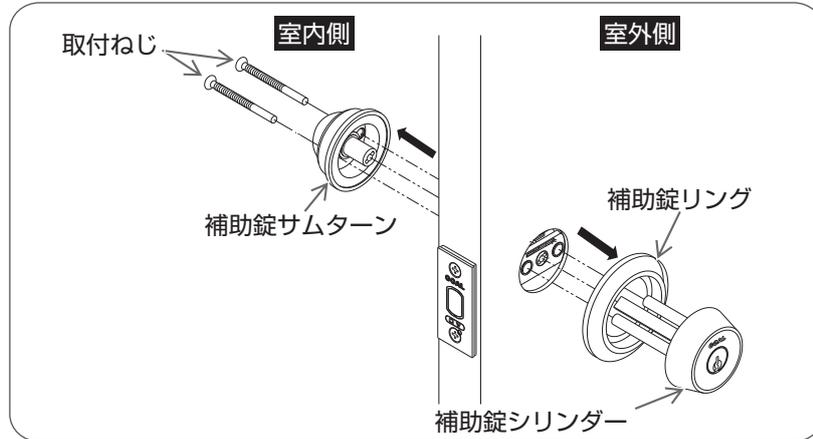
※部品の取り付け方は 2・3 ページをご覧ください。

## 部品の取りはずし方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

## 2 補助錠シリンダーの取りはずし



室内側よりプラスドライバーで補助錠サムターンの取付ねじをはずし、補助錠サムターンおよび補助錠シリンダー、補助錠リングははずす。  
※取付ねじを取りはずすと、補助錠シリンダーおよび補助錠リングがはずれます。落下にご注意ください。  
※取りはずした補助錠サムターンおよび補助錠リングは取り付けの際使用しますのでなくさないでください。

※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

## 部品の取り付け方

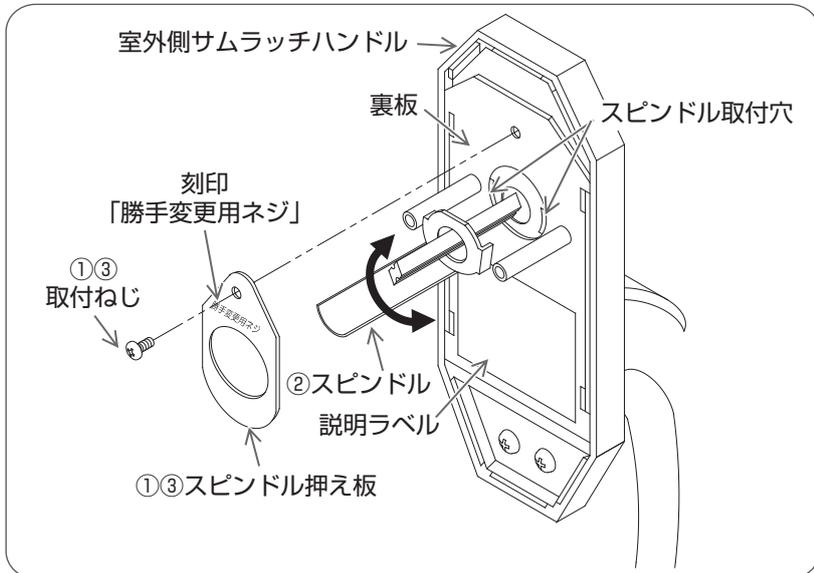
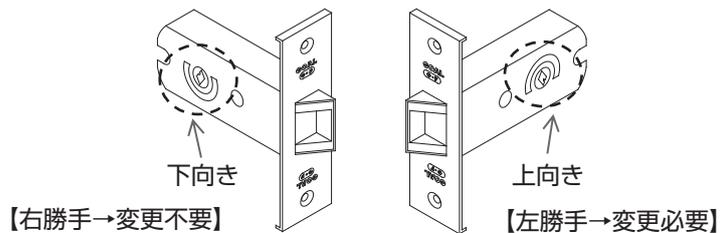
### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

※本要領書では、右勝手で説明しています。

## 1 室外側サムラッチハンドルの勝手の変更 (左勝手のみ)

- ※左勝手の場合は室外側のサムラッチハンドルの勝手変更が必要になります。
- ※左勝手への変更は主錠ケースの○部分の穴が右図のような上向きの場合のみ行ってください。



- ① プラスドライバーで室外側サムラッチハンドルのスピンドル押え板の取付ねじをはずし、スピンドル押え板をはずす。  
※取りはずしたスピンドル押え板および取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。
- ② スピンドルを裏板からはずして向きを上下逆向きにし、再度裏板のスピンドル取付穴に差し込む。(下写真参照)
- ③ スピンドル押え板をセットし取付ねじをしめる。



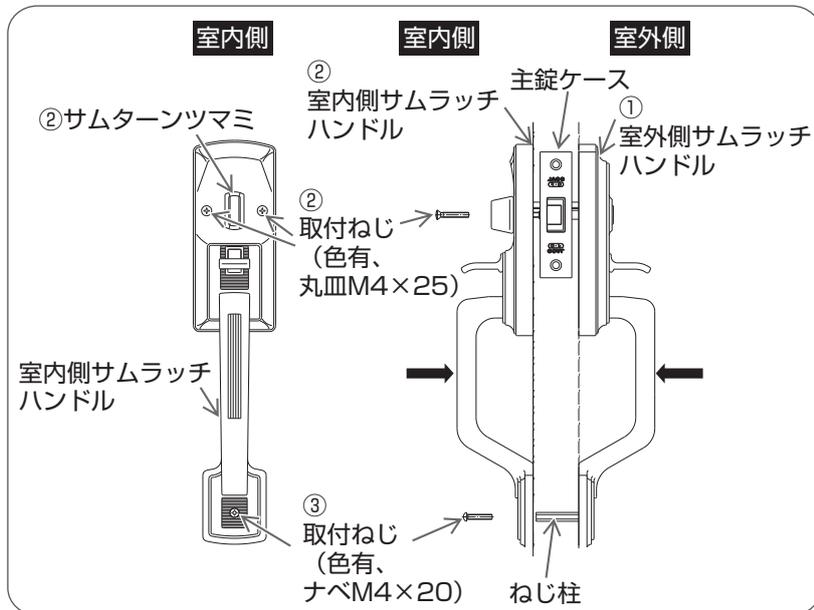
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

## 部品の取り付け方

### お願い

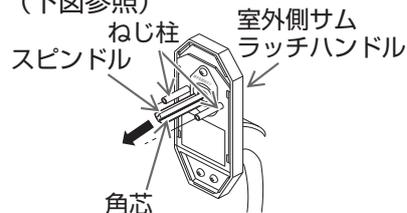
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

## 2 室外側サムラッチハンドルの取り付け



① 室外側より室外側サムラッチハンドルを主錠ケースの取付穴に差し込む。

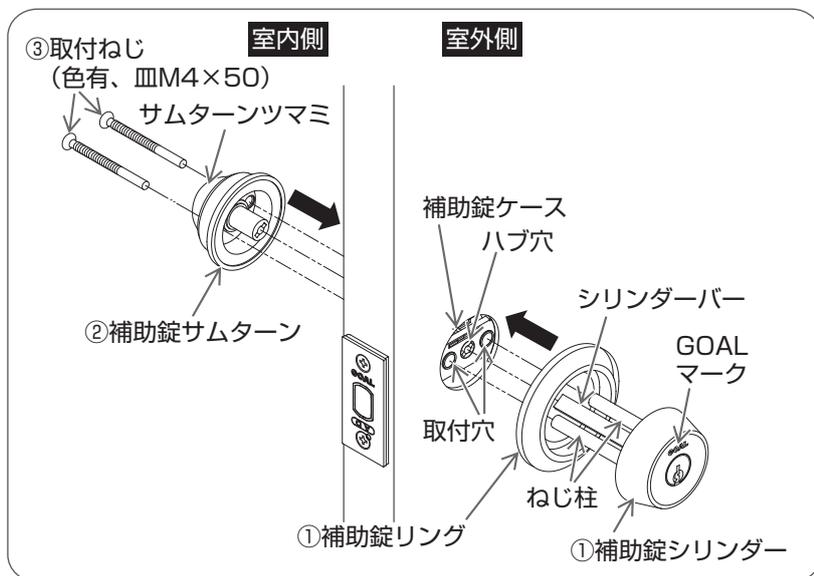
※ スピンドル、角芯、ねじ柱を各取付穴に差し込んでください。(下図参照)



② 室内側より室内側サムラッチハンドルのサムターンツマミをタテにして室外側サムラッチハンドルのねじ柱に合わせ、プラスドライバーで上部取付ねじ(色有、丸皿 M4×25)を仮止めし、サムターンツマミの動きのよい所で上部取付ねじをしめる。

③ 室内側より下部取付ねじ(色有、ナベ M4×20)をしめる。

## 3 補助錠シリンダーの取り付け



① 室外側より GOAL マークが上になるよう補助錠シリンダーを補助錠リングとセットし、シリンダーバーおよびねじ柱を補助錠ケースの取付穴に差し込む。

※ 補助錠シリンダーのシリンダーバーの向きを補助錠ケースのハブ穴の向きに合わせて差し込んでください。

② 室内側より補助錠サムターンのサムターンツマミを補助錠シリンダーのシリンダーバーの向きに合わせて差し込む。

③ プラスドライバーで取付ねじ(色有、皿 M4×50)を仮止めし、サムターンツマミを動きのよい所で取付ねじをしめる。

## 部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ サムターンツマミをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※ 部品の取りはずし方は 1・2 ページをご覧ください。